

## G20新潟農業大臣会合開催推進協議会 設立趣意書（案）

2019年金融・世界経済に関する首脳会合（サミット）にかかる誘致活動が実を結び、来年、G20農業大臣会合が新潟で開催されることになりました。

ハイレベルな国際会議であるこの会合の開催地として、2008年のG8労働大臣会合、2010年のAPEC食料安全保障担当大臣会合並びに2016年のG7新潟農業大臣会合に続き、この新潟が選定されたことは、過去の豊富な実績と開催能力が高く評価されたものと考えています。

日本を代表する農業県・農業都市である新潟県・新潟市において、全世界における人口及び農地のそれぞれ約6割、農産物貿易においては約8割を占めるG20の各国、関係機関の代表者が、世界の食と農について議論し、その重要な役割と取り組みを世界に対して発信することは、前回のG7新潟農業大臣会合にも増して大きな意義を有することとなります。

これまでにない規模となるこの会合を通じ、県民・市民が誇る食文化、観光資源、都市機能、拠点性といった新潟の総合力と、おもてなしの心を、各国閣僚をはじめ会合関係者から実感していただくことは、新潟の国際コンベンション開催能力やまちの魅力を直接世界に発信する、またとない機会となります。

幅広い分野から多くの関係者の参画を得て、万全の態勢で会合開催に向けた準備を進め、会合を成功に導くため、「G20新潟農業大臣会合開催推進協議会」を設立します。